

(証券コード:7218)

田中精密工業株式会社
第75回定時株主総会

心が動く、未来を創る
— Next Solution, Next Smile. —



議長

田中 英一郎

01

出席株主数および 議決権数のご報告

02

監査役による 監査報告

常勤監査役 高橋 睦

＜ご報告事項＞

連結計算書類に係る会計監査報告

計算書類に係る会計監査報告

監査役会の監査報告

03

第75期 事業年度について

招集ご通知	記載ページ
事業報告	P.5~20
連結計算書類	P.21~22
計算書類	P.23~24

第75期(2026年3月期) 決算報告

(金額単位:百万円)

	2025年3月期 前期実績	2026年3月期 当期実績	増減額	増減率	
売上高	40,474	43,790	3,316	8.2%	
営業利益	2,704	2,372	-332	-12.3%	
経常利益	3,135	2,554	-581	-18.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,788	1,194	-593	-33.2%	
営業利益率	6.7%	5.4%	-1.3pt	-	
為替レート	円/ドル	149.52	159.88	10.36(円安)	6.9%
	円/パーツ	4.40	4.86	0.46(円安)	10.5%
	円/ドン	0.0062	0.0060	-0.0002(円高)	-3.2%

売上高・・・株式会社米谷製作所の子会社化やソリューション事業における売上の拡大により増収
 営業利益・・・北米での売上製品構成変化及び新規立上げコストにより減益
 当期純利益・・・固定資産の除却に伴う特別損失778百万円計上により減益

- *HEV(ハイブリッド車)用部品の新規受注獲得
- *トヨタ関連企業様への販路拡大
- *Honda様案件も継続受注

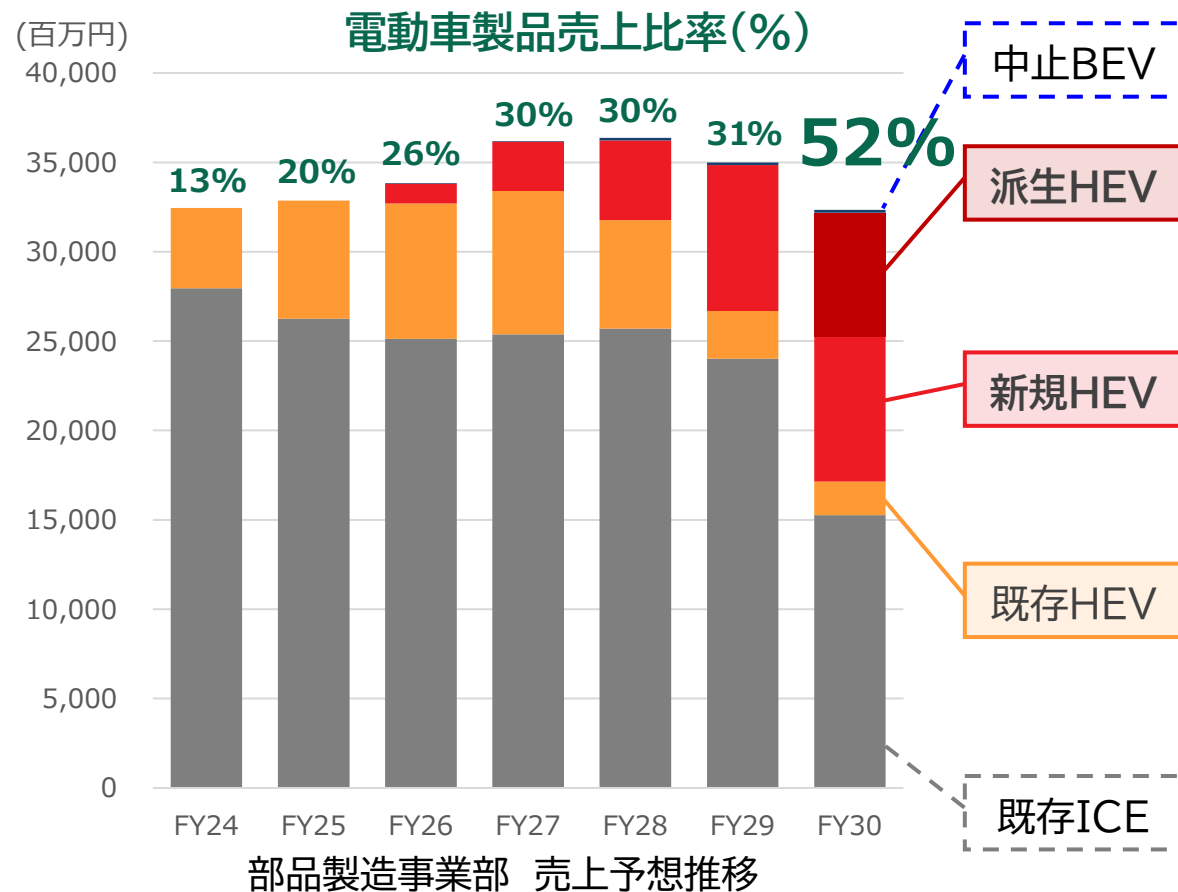
FTP(北米拠点)において、Honda様、トヨタ関連企業様を中心に総額 約 **55百万米ドル(約83億円)** のHEV製品に関する設備投資を実施



新規アルミダイカストライン(650t 仕様)



新設アルミ自動加工ライン(トヨタ系)



事業構造転換を加速 HEV(ハイブリッド車) × 顧客幅出しで成長基盤を確立

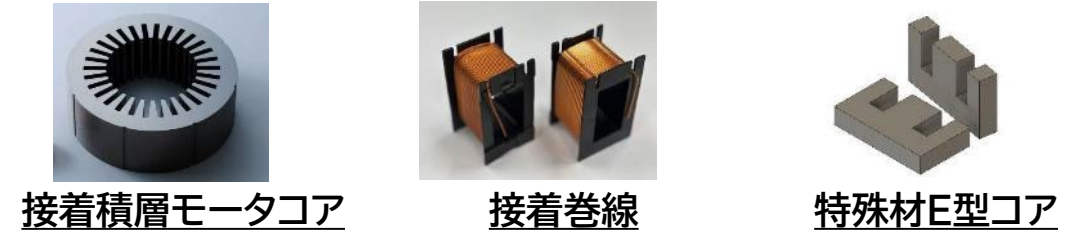
【FA装置／設備】 2025年度 納入実績

- * D-PORTERシリーズ 85台(98%**増**) 新規
- * 専用設備(Assy機等) 29台(28%**増**) **4社**



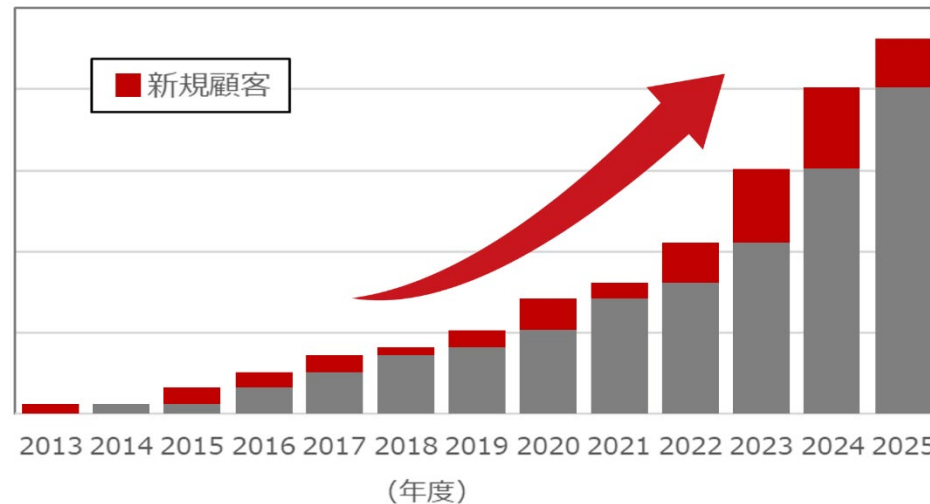
【モーター製造設備／特殊材モーターコア試作】 2025年度 納入実績

- * 接着積層コア製造装置 納入3社 新規
- * 巻線接着システム 納入1社 **2社**
- * 特殊材モーターコア試作 納入4社



労働人口減少社会に「自動化装置」で貢献

電動化の発展課題に対する技術開発で「脱炭素社会」の実現に貢献



新規顧客の獲得と既存顧客のリピート受注が増え、好調な販売を継続

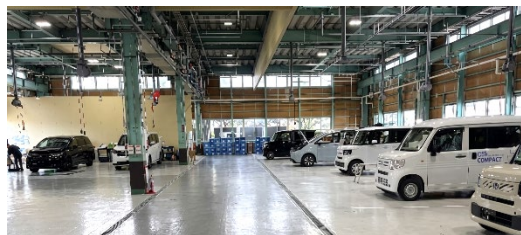
2026年1月 Honda Cars 富山 高岡駅南店オープン

新規来場者の最大化を図る



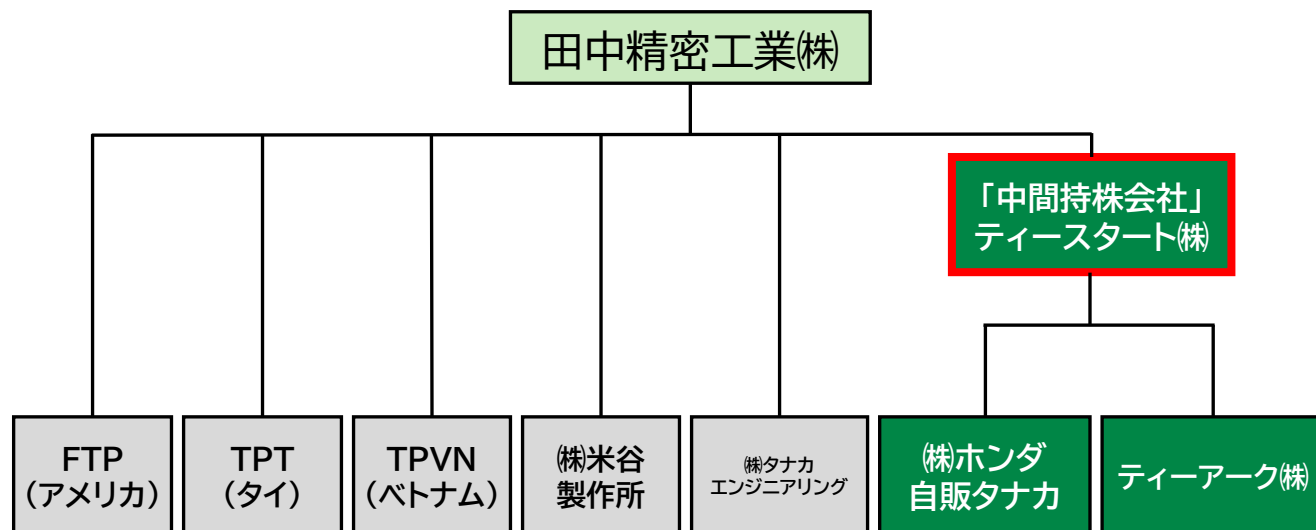
2026年2月 Honda Gloss 富山 富山センター稼働開始

新車・中古車の整備能力を強化



2026年4月 中間持株会社「ティースタート株式会社」を設立

中間持株会社に管理部機能を集約させ
傘下に株式会社ホンダ自販タナカと
新たに設立したティーアーク株式会社を置く



(26.04 子会社化)
・板金塗装整備
・新車中古車整備請負
・生活関連サービス

更なる”強い販売会社”の実現に向けた店舗・工場の稼働
迅速な経営判断を目的とした中間持株会社を設立

04

長期経営計画 「Next35」について



AI+自動化



電動化



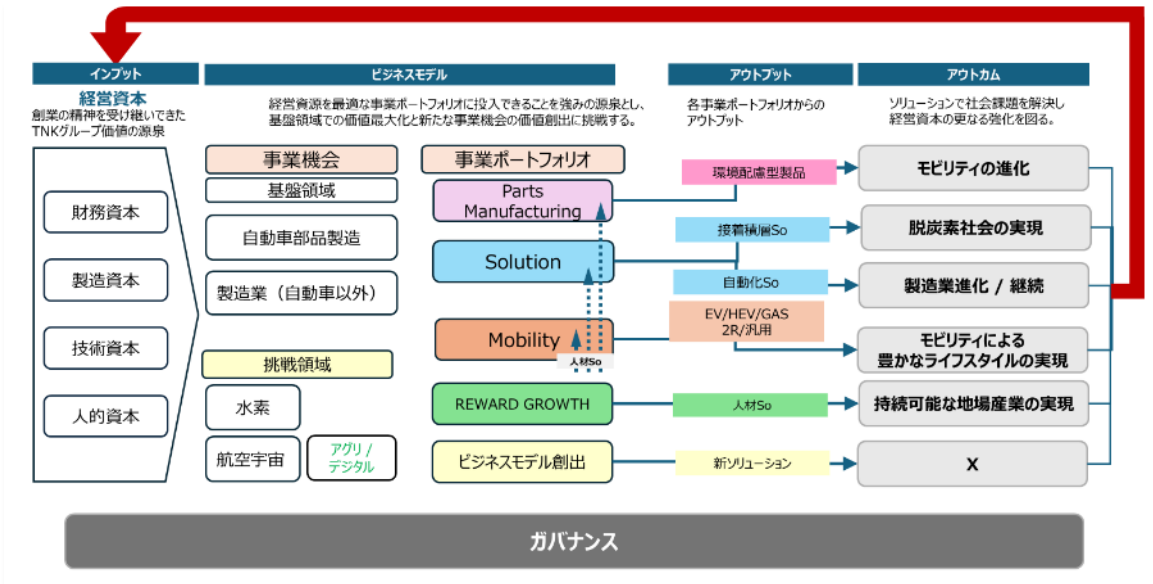
田中精密グループの価値創造プロセス



資本市場の要求水準上昇



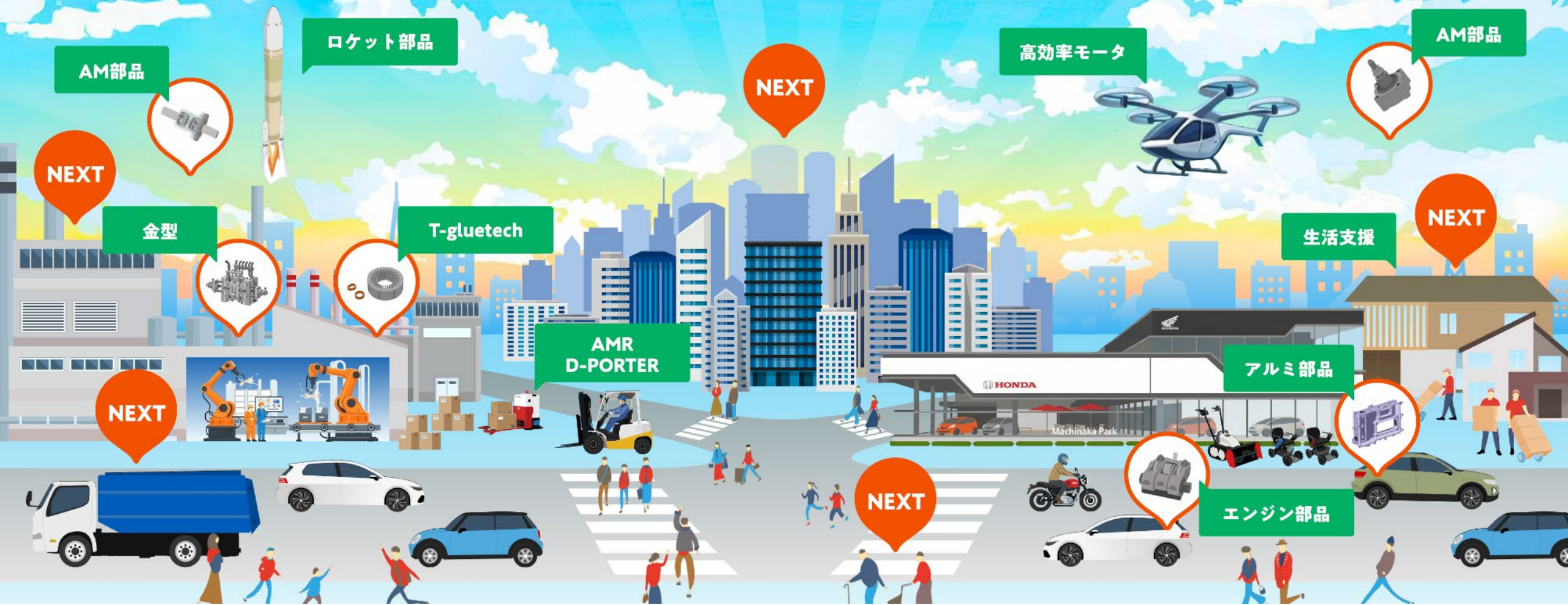
人口減少/人材難



事業環境変化により既存事業のみではグループの成長が出来ない
 グループ成長に向けた事業ポートフォリオ変革を含めたパーパス/経営計画の策定が必要

心が動く、未来を創る

—Next Solution, Next Smile.—



AM部品

ロケット部品

高効率モータ

AM部品

NEXT

NEXT

金型

T-gluetech

生活支援

NEXT

AMR
D-PORTER

アルミ部品

NEXT

NEXT

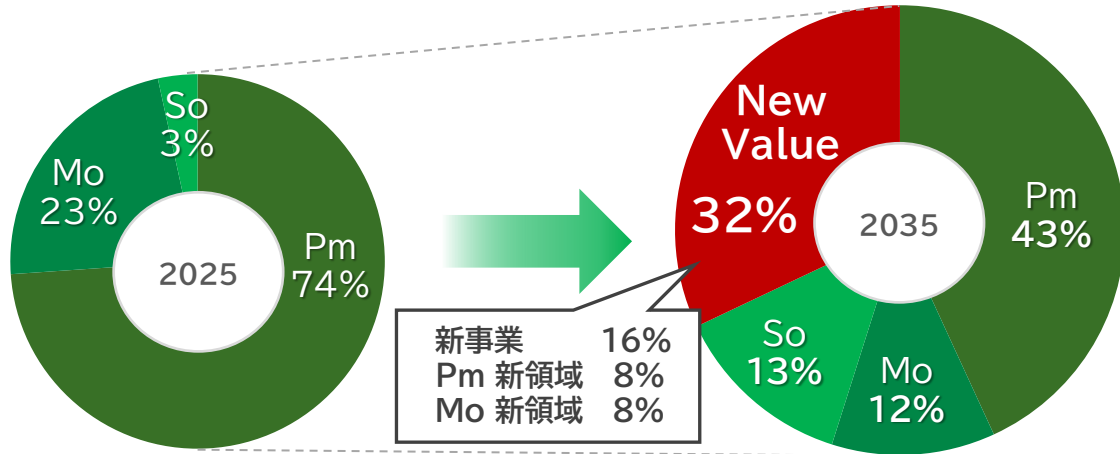
エンジン部品

部品製造 事業部	Vision	『Beyond the Limits』 次世代モビリティの進化を決定づける不可欠な機能と価値の供給源
	Mission	地球に優しいものづくりを追求し、世界のパートナーと新しい価値を共創する * 社外パートナーとの共創スキーム強化で、事業収益モデル転換を加速させる * 電動車で進展する熱マネジメント領域への経営資源の充当
ソリューション 事業部	Vision	ものづくり企業の未来に不可欠な、課題解決の製造SIer
	Mission	人口減少社会の壁を越え、ものづくり進化をクリエイティブで牽引する * 規模拡大による利益確保 * 付加価値商材の拡充
モビリティ 事業部	Vision	時代と人の変化に即応し、最適な価値を提供し続ける価値共創パートナー
	Mission	お客様の人生の「動き」に寄り添い、その時々に必要な価値を探求し提供し続ける * 商材拡大、広域化の取り組み * グループ連携によるサービス価値の拡張

長期経営計画「Next35」—目標数値—

新事業・新領域での営業利益
30%以上

Pm: 部品製造事業部
So: ソリューション事業部
Mo: モビリティ事業部



営業利益・ROE・ROIC

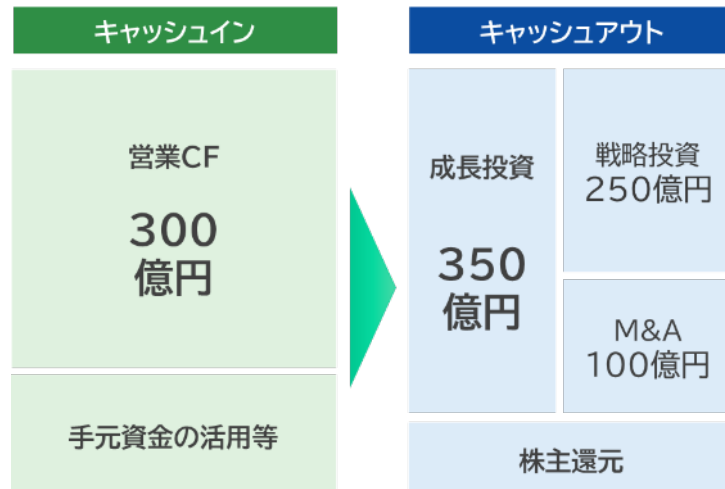
3つの目標指標

	2025(実績)	2030	2035
営業利益	23億円	25億円	43億円
ROE(※1)	5%	7%	10%
ROIC(※2)	5%	7%	8%

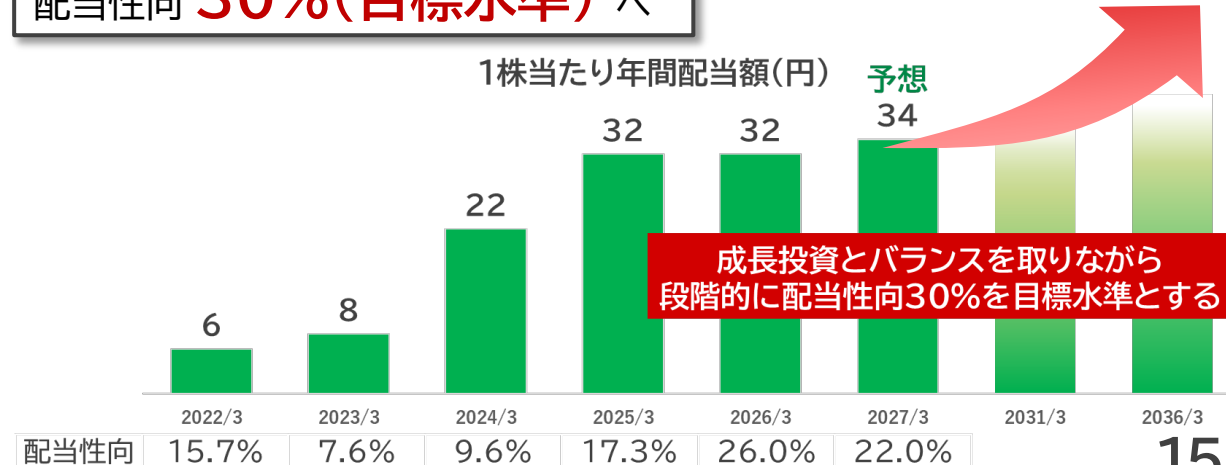
(※1)ROE = 自己資本利益率 = (当期純利益/自己資本)×100
(※2)ROIC = 投下資本利益率 = (税引後営業利益/投下資本)×100

350億円 の成長投資

2026年度～2030年度の
キャピタルアロケーション
(資本配分)



安定的かつ段階的な株主還元
配当性向 **30%(目標水準)** へ



05

決議事項について

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役5名選任の件

招集ご通知	記載ページ
株主総会参考書類	P.25～29

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、安定的な経営基盤の確立と持続的な成長を図りつつ、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としております。

【期末配当金】

1株につき 16円

配当総額は 156,077,184円

※年間配当金は、中間配当金 16円と合わせ
1株につき 32円となります

【配当が効力を生じる日】

2026年6月25日

田中 英一郎

高木 悦郎

山田 勝也

松山 科子

沖 健司